

# 第50回全国中学校ハンドボール大会

## 試合結果・戦評報告

競技日	令和3年8月24日(火)	試合番号	C 8	回戦	男子二回戦
種別	中学生	会場	浦和駒場体育館		

A チーム			B チーム		
呉羽 (富山)			東久留米西(東京)		
得点合計	小計		小計	得点合計	
15	8	前半	11	28	
	7	後半	17		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7 m T C			

### 戦評

男子二回戦。呉羽のスローオフで試合が始まる。先制点は東久留米西の13番。すかさず呉羽の2番がロングシュートで取り返す。序盤から互いに果敢に攻める両者。しかし、両ゴールキーパーの好守にはばまれ、なかなか得点をあげられない時間が続く。開始7分、少しずつ点が動き始めるも、固さがあるのか、バスマス、シュートミスも重なり、15分で3対3とロースコアでゲームが進んでいく。均衡を破ったのは呉羽。15分55秒にカットからの速攻で6番が4点目をあげる。東久留米西も負けずに得点をあげるも、呉羽も着実に得点を積み重ねる。21分過ぎに東久留米西がポストプレイで7対6とリードすると互いの得点が動き始める。3-3ディフェンスにシフトを変えた東久留米西が、その後優位に試合を進める。終了間際にタイムアウトを取って最後の攻撃を得点に結びつけた東久留米西が、前半を11対8と3点リードで折り返した。

後半が始まって東久留米西が、11番の速攻で得点をあげると、その後も堅い守りからの速攻で得点をあげ、一気に呉羽を引き離す。7点差となった4分57秒。呉羽はタイムアウトを取り、流れを変えようとした。しかし、一度傾いた流れは引き戻せず、後半の呉羽の初得点は10分過ぎであった。その後も堅い守りから得点を重ねた東久留米西が、28対15で勝利し、三回戦へと勝ち上がった。

記載者名

矢島英之